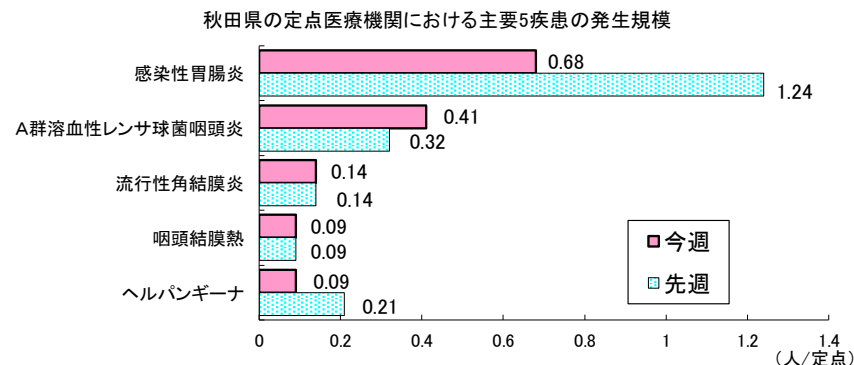




【第38週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で45%減少しています。保健所別では、北秋田で増加、秋田市、大仙で同規模、大館、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、湯沢で増加、大館で同規模、大仙で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で同規模です。保健所別では、報告のあった全ての保健所で同規模となっています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減			
RSウイルス感染症		0.03	↗																											
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.09	0.09		0.14	0.14																									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.32	0.41	↗	0.14	0.57	↗	1.50	1.50							0.25	0.50	↗				0.75	0.25	↘							
感染性胃腸炎	1.24	0.68	↘	1.43	1.43		0.50		↘		0.50	↗	2.33	1.33	↘	1.25	0.75	↘	0.50		↘	0.50	0.50		1.33	0.67	↘	3.33	0.33	↘
水痘		0.03	↗																											
手足口病	0.06	0.03	↘		0.14	↗																								
伝染性紅斑	0.03		↘																											
突発性発しん	0.21	0.03	↘	0.14		↘		0.25	↗	1.00		↘																		
ヘルパンギーナ	0.21	0.09	↘	0.14	0.29	↗							2.00	0.33	↘															
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33	0.33					*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																														
無菌性髄膜炎																														
マイコプラズマ肺炎																														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が北秋田保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から9人、大館保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から2人、大仙保健所管内から4人、横手保健所管内から2人、湯沢保健所管内から4人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-37週		38週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	11010	55	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2230	17	1
	腸チフス			
パラチフス				
四類	E型肝炎	327		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	51		
	エキノкокクス症	20		
	黄熱			
	オウム病	7		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	92		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-37週		38週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	136	1	
	デング熱	4		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	298		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	17		
	野兔病			
	ライム病	17		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1396	15	1
レプトスピラ症	19			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	381	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	137	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1343	24	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	14		
	急性脳炎	241		
	クリプトスポリジウム症	4		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	130		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	431	3	
	後天性免疫不全症候群	726	1	
	ジアルジア症	26		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	147	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	971	7	
	水痘(入院例に限る)	192	3	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5112	30	1
	播種性クリプトкокクス症	98		
	破傷風	66		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	87		
	百日咳	443	4	
	風しん	8		
	麻しん	5		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			
* 新型コロナウイルス感染症	1655	22		

\* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<RSウイルス感染症の発生状況について>

秋田県におけるRSウイルス感染症患者の定点あたり報告数は、38週現在(9/20～9/26)0.03と少なくなっていますが、RSウイルス感染症は例年であれば秋から冬にかけて流行する疾患です。今後の発生動向に注意し、感染予防に努めましょう。

■近年の発生状況

例年、RSウイルス感染症は秋から冬にかけて流行していましたが、近年は流行時期がずれてきており、発生動向の予測が難しくなっています。全国の発生状況は、2019年では7月頃から患者報告数が増加し9月に流行のピークとなり、翌2020年では患者報告数が減少し、明確な流行は確認されませんでした(図)。2021年は4月頃から患者報告数が増加し、7月にピークがみられました。秋田県では4月から7月にかけて患者報告数と集団感染事例報告数の増加がみられました(表)。

■症状

原因となるRSウイルスには、1歳までに半数が、2歳までにほぼ全ての幼児が1度は感染するとされています。感染から4～6日の潜伏期間の後、発熱や咳・鼻汁などといった上気道炎の症状が現れ、中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行することもあります。特に、1歳未満の乳児が初めて感染した場合は症状が重くなりやすいといわれています。重症化すると無呼吸発作などを起こすことがあり、入院が必要となる場合もあります。生涯にわたり何度も感染を繰り返しますが、身体の免疫の働きによって徐々に症状は軽く済むようになります。

■予防

主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。こまめな手洗い、マスクの着用等の日常的な予防対策をしっかりと行いましょう。また、早産児など特に重症化しやすいお子さんについては、重症化を防ぐための注射薬(抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体)が使われることもありますので、医療機関へご相談ください。

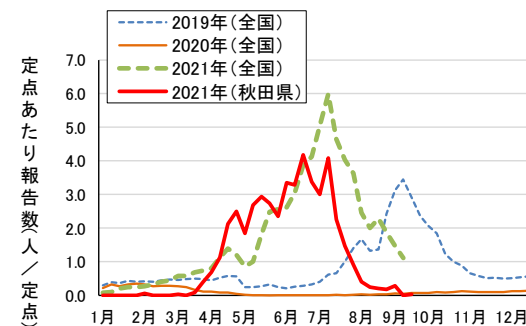


図 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

表 RSウイルス感染症集団感染事例報告数(秋田県)

期間	事例数	計	
2019年	8月	1	15
	9月	2	
	10月	7	
	11月	3	
2020年	12月	2	0
	1月～12月	0	
2021年	1月～3月	0	87
	4月	7	
	5月	9	
	6月	23	
	7月	45	
	8月	2	
	9月	1	



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		